

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和6年7月26日
袋井市長定例記者会見資料
教育部学校教育課

地域防災をテーマに「中学生未来会議」を開催 ～中学生が被災地での実体験を活かし、本市の地域防災を考える～

◇地域課題の解決に向け公募により集まった中学生が学び合う「未来Create Club」が、8月19日(月)「中学生未来会議」として災害対応について自分たちの考えを提案し、市長と意見交換を行う。

◇クラブのメンバーは、7月13日(土)から14日(日)にかけて1泊2日で能登半島地震の災害支援ボランティア活動に参加、被災地での体験をもとに今後の本市の災害対応について検討した結果を、市長をはじめとした市の職員に提案し、意見交換などを行うなかで、実践可能な取り組みに向けて内容を磨きあげる。

【概要】

1 日時 令和6年8月19日(月)14:30～16:30

2 会場 袋井市教育会館4階 大会議室

3 参加者

中学生 12人 ※5月の募集に応じた市内の中学生

袋井市 大場市長、鈴木教育長、危機管理部長、危機管理課長 など

4 内容

(1) グループごとの提案発表

7月13日(土)から14日(日)にかけ、石川県鳳珠郡穴水町で行ったボランティア活動を通じて感じたことなどをもとに今後の地域での防災対応について提案する。

(2) 市職員と意見交換

グループごとに分かれて、大場市長及び市職員と提案内容について意見交換を行う。

(3) 市長メッセージ

市長が中学生にメッセージを送る。

〈R5 の中学生未来会議の様子〉



〈7月13～14日穴水町での活動の様子〉



【お問い合わせ先】

袋井市 教育部 学校教育課 指導係(担当:伊藤)

電話:0538-86-3222 FAX:0538-86-3666 メール:gakkou@city.fukuroi.shizuoka.jp